

あたらき大地

1987年 11月号

NO. 23

第一回木材団地文化展が開催される



大阪府知事賞には、正岡路子さん（小学校四年生）が入選

第一回木材団地文化展が、去る10月30日から4日間、当組合のウッドリーム大阪の研修室特設会場で、美原町、(社)大阪府木材連合会、木材団地地区自治会及び木栄会の後援を得て盛大に開催された。

この程の文化展は、従来(社)大阪府木連の主催で大阪市内の大阪木材会館で開催されていたが、今年度より同連合会の開催中止により当組合が主催して実施することになった。

今回の出展作品は、書・絵画・彫刻・工芸・写真・盆栽・手芸の7部門に分かれ、総出展作品数は、124点の多数が出品された。

それぞれの部門別に選定された専門審査員による審査が、10月29日(木)午後3時より実施されたが、いづれ劣らぬ力作ぞろいで、審査員の選考にずいぶん時間がかかり、厳正な審査の結果、地元平尾小学校4年生の正岡路子さん(地区会)が絵画の部で知事賞を射止めたのを初め、金賞、銀賞、銅賞の3部門で38名の方々の作品が優秀と認められ、各々の賞を受賞された。(受賞者の内訳は後記のとおり)



＜文化展会場風景＞

なお、会期4日間の鑑賞見学者は、延べ270名を越え、文化の秋にふさわしい、また第一回目の催しとしては、規模、質とも一線級であり、作品のレベルもかなり高かったこと

から、見学者の中から称賛の言葉が数多く聞かれた。

今後は、木を重点にした文化展にして行きたいと考えている。



第一回木材団地文化展入賞目録

I. 金賞の部 計4点

	部門	出品者氏名	作品名	所属
大阪府知事賞	絵画	正岡路子	彼岸花	地区会
美原町長賞	書	稲葉惣蔵	白楽天詩	榊イナバ
大阪営林局長賞	写真	坂本正勝	霧氷	友の会
ウッドリーム大阪賞	彫刻	小濱輝行	女性座像	小浜木材工業榊

II. 銀賞の部 計13点

	部門	出品者氏名	作品名	所属
(社)府木連会長賞	写真	山本郁生	木材団地盆踊り	大阪木材工場団地(榊)
	手芸	搦本昭子	夢の森	マルコマ榊
木栄会々長賞	絵画	堀田武次	わが町	友の会
	彫刻	住田光伸	阿弥陀如来	地区会
	工芸	田保多美江	額ぶち	友の会
	写真	山本喜多江	似てる?	大阪木材工場団地(榊)
木材団地地区長賞	盆栽	藤原治	根上がり	恩加島木材榊
	書	長尾千里	鳳麟来	布卯銘木榊
	絵画	柳澤文雄	ポプラ	榊イナバ
	工芸	岡林幸子	ティッシュケース	地区会
	写真	貝本富作	あさもや	トリスミ集成材榊
審査委員長賞	手芸	中川佳子	おもいでぐるま	榊中川木材店
	絵画	藤川八重子	おばあちゃん	友の会

III. 銅賞の部 15点

	部門	出品者氏名	作品名	所属
大阪木材工場団地(榊)理事長賞	書	河内愛子	倦鳥知還	榊紙庄
	"	浦本悦子	一華開五葉	浦本木材榊
	"	瓦井啓三	般若心経	瓦井銘木榊
	"	山本郁生	淡窓詩	大阪木材工場団地(榊)
	"	川田三郎	五言絶句	太田ベニヤ榊
	絵画	宮家卓子	狐狸月照	天王寺木材榊
	"	小濱繪津	不動七重滝	友の会
	"	佐谷民子	おさげ髪	友の会
	"	天見啓子	ひまわり	友の会
	"	山本郁生	花	大阪木材工場団地(榊)
	彫刻	木内忠義	不動明王像	(財)日本木材検査所
	写真	舟橋弘好	夏富士夢幻	友の会
	"	辻一嘉	手筒花火	友の会
	手芸	小田良光	王者	大阪単板工業榊
	"	倉永智子	ばらのため息	地区会

IV. ファン投票の部 6点

	部門	出品者氏名	作品名	所属
ファン投票賞	手芸	水野徳子	打ち出の子榎	浅野木材榊
	絵画	山野百合子	グラナダの小径	友の会
	書	老人クラブ一同	千字文	地区会
	手芸	松葉智江子	初秋	榊紅中
	書	橋本健介	黙滴不施	榊葵建装
	手芸	山本喜多江	人形	大阪木材工場団地(榊)

審査員

委員長	中川藤一	(文化展委員長)	大阪木材工場団地協同組合理事長
委員	奥野河南	(書家)	職能会々長・毎日書道展参加員審査員
"	尼崎利太郎	(画家)	大阪市民表彰文化功労賞受賞・水墨画家
"	川合敏久	(彫刻家)	日本美術家連盟会員・放送短大講師
"	多田吐志	(工芸染色家)	日展会友・日本新工芸家連盟会員
"	津田洋甫	(写真家)	日本写真家協会々員・木を撮り続けて30年
"	北野三郎	(盆栽)	美原園芸協同組合会長
"	島崎尚子	(手芸)	美原町立美原中学校教諭



第3回ウッドフェアが盛況裡に開催される

初秋を飾る木材団地のイベント、恒例のウッドフェアが、10月24日(土)・25日(日)の両日、午前10時よりウッドリーム大阪及び木材乾燥工場各特設会場で開催され、天候が悪くて予定の2万人は集まらなかったが、両日合計で1万8千人を超える人出で、売り上げも2千5百万円と昨年の実績を大きく上回り大成功であった。

今年で3回目を迎え、年々出展組合員数も増え、出展品も廉価な物から高価な物まで、バラエティに富んだ商品が各会場に取り揃えられ、最近ではこの日を待って遠方から足を運んでくるお客の数も増えている。

新しい試みとして、木材乾燥工場会場に掲げられた出展企業の社旗と、過去にウッドリーム大阪を訪れた外国の旗が、来場者の目を楽しませ、より一層おまつりムードを高めていた。

お祭り広場の一角に設けられた金魚すくい、ヨーヨーつり、木製迷路が子供たちに非常な



＜第3回ウッドフェア風景＞

人気を集めていた。

今回、当団地が奉仕の一環として、大阪府立金剛コロニーに初めて参加してもらったが、今迄参加した催し会に比べて売上げが数倍多く、担当職員にとって大変感激の気持ちが高かったようで、このことは当団地としても、大変喜ばしいことであった。

松尾委員長をはじめとする実行委員、出展企業、その他関係者の絶大なる協力で、回を重ねるごとに充実し、ビックイベントになってきた同フェアであるが、今後ますます充実をはかるため組合員全社が参加し、名実ともに団地まつりのイメージを定着させることを期待したい。

< 理事会の議事録から >

★ 高度化事業の補完事業について

当組合が高度化事業としての団地造成のために、昭和40～46年にかけて中小企業事業団より借入れた高度化資金が62年3月に全額償還されたが、今後更に高度化事業の運営強化と事業拡充のために、組合及び組合員において新たな事業（補完事業）を進めることになった。全組合員よりアンケート調査を行い、それをふまえて来る11月11日の臨時総会で中小企業事業団の担当者等を招いて説明会を実施することとした。

なお、この高度化融資は所要額の65%について年利2.7%、償還期限20年（予定）という有利な借入条件であり、この機会に多数の組合員に利用してもらうよう勧奨された。

★ 団地内バス停留所に屋根付ベンチを設置

去る10月1日より実施された団地内運行バスのダイヤ改正と、一部運行経路の変更による停留所の移転に伴い、乗客へのサービスと環境整備事業の一環として、停留所の一部に木材団地にふさわしい屋根付きベンチを設置することになった。

設置個所は「木材団地前」と「木材団地中」の各停留所4ヶ所（上り、下りの各線）で、1カ所の設置費用は30万円で合計120万円となり、うち半額は環境整備事業費として負担することとした。

なお、この停留所の設置については、全組合員に呼びかけて設計コンペを行い、審査委員であるウッドルーム大阪の設計者、新田正樹・並びに大阪府建築部の吉羽逸郎両氏の審査の結果、最優秀賞に中川彰三郎並びに中川博司の両氏（㈱中川木材店）、優秀賞に足立明弘氏（トリスミ集成材㈱）がそれぞれ選ばれ、来る11月20日に施設が完成する予定である。

★ 広報紙“あたらしき大地”の編集企画委員会を設置

昭和59年3月以来、満4年間発行している「あたらしき大地」（広報紙）に新鮮味を加えると共に、新しいアイデアを盛り込み、内容を一層充実していくために今回、編集企画委員会を設けることになった。なお委員長には、田中繁男理事（㈱田中木材店社長）が就任の予定。

【組合員企業の紹介シリーズ】『うちの会社』

〔その23〕

株式会社高島屋工作所 社長 飯田喜一



当社は、昭和14年6月に株式会社高島屋を母体として創立いたしました。大阪工場は、昭和57年11月に箕面市から当大阪木材工場団地に新築移転し、組合加入各社の皆様には資材の購入、情報収集等あらゆる角度からご協力をいただいております。

現在本社を大阪市浪速区に置くとともに、事業所・工場及びショールームを大阪、東京、横浜、名古屋、福岡に設けて、全国のお客様のニーズに沿って営業展開を行っております。

また、当社の事業につきましては、建築デザイン部門、建築造作・インテリア部門、家具部門を設け、店舗企画、建築内装の設計・施工及び船舶、車輛、航空機の内装設計・施工並びに各種オーダー家具の設計・製造、各種オリジナル家具の製造・販売を主として取り扱っています。

なお、当社は昭和64年に創立50周年を迎えることとなります。創立以来「確かな技術とより良い品質」をモットーに、常に一步先を見つめた総合インテリアメーカーとして邁進してきました。豊かな経験と実績を活かし、常に人間性を追求し、新しい人間空間を提案できるインテリアクリエイターに成長したいと思っています。「ゆたかなインテリア環境を創造する高島屋工作所」を何卒よろしくお願ひします。

“ 木栄会だより ”



第10回団地内工場見学会を実施

去る9月18日、当会情報交流委員会の企画による表記見学会が実施され、今回も異業種交流の一環として、ステンレスパイプ工業㈱・クボタ精機㈱の友好企業2社を約2時間にわたって見学した。

参加者一同は、省人化を前面とした両企業の生産管理システムに興味深く熱心に見入っていた。

火災予防講習会を開催

去る9月29日、午後6時より「ウッドルーム大阪」研修室において、当会研修委員会企画による表記講習会（参加者36名）が行われた。

講習会は映画、講話（講師：美原町消防署総務課長）、質疑応答の順で1時間半にわたって行われ、耳新しい火災事故（団地内友好企業、大村紙業㈱）の直後でもあったせい活発な質疑応答も交され、有意義な講習会であった。なお、この講習会は今後第2回、第3回と開催を予定している。

恒例の“焼肉パーティー”を開催

去る10月16日、午後6時より当組合木材乾燥工場において、親睦委員会の行事“焼肉パーティー”が参加者99名のもと盛大に開催された。



この日用意された34kg（小牛1頭分？）の肉をペロリとたいらげた大食漢たちが、満足感のもとカラオケや親睦話に秋の夜長を楽しく過ごし、おわりに組合25周年記念歌「新しき大地」の大合唱のあと、「木栄会」の今後ますますの発展を期し、成瀬副理事長の三本締で幕を閉じた。

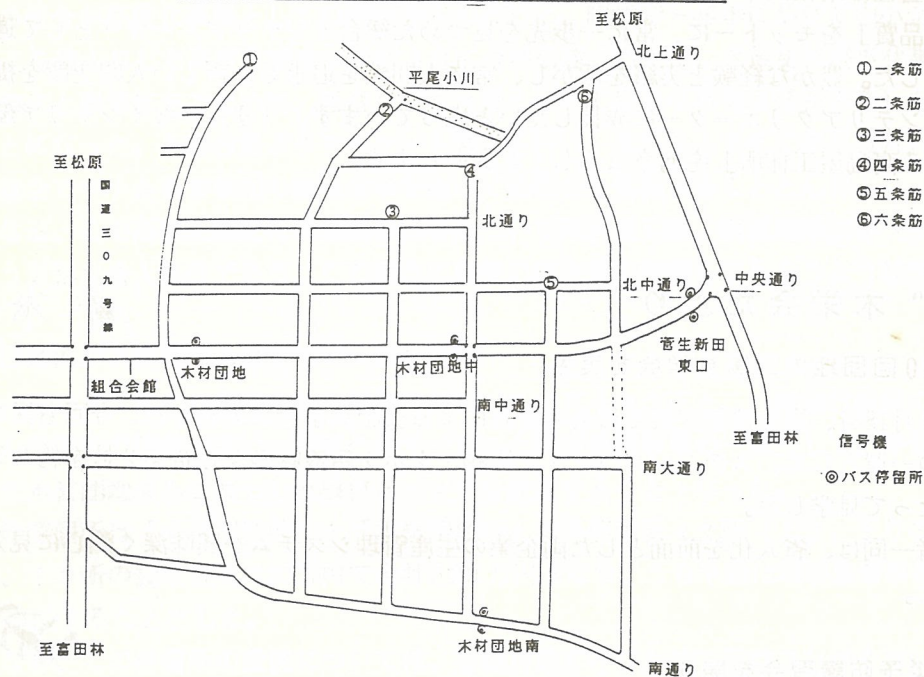
“環境整備すぐやる課だより”



団地内の道路に、通称名を付けて分かりやすくしようということが先の環境整備事業総会で決定されましたが、今回、各企業のご協力を得て、全ての交差点にこの看板を300カ所にわたって設置いたしました。

通称名については、東西の道路は「通り」とし、また南北の道路は「筋」として、名称を付けています。皆様方も、是非この通称名の普及にご協力下さい。

木材団地道路通称名及びバス停留所



“ウッドリーム大阪”だより



★ 木工教室開催

恒例の木工教室が今年は、“間伐材を使って遊テリアしませんか？”と題して一般を対象に去る9月5日・6日に開催された。

参加者は10数名と弱干予定より少なかったが、心から木工を愛する人たちが集結し、のみやかなづちを片手に、作品づくりに汗を流していた。

当日指導に当たったウッドクラフナー 藤迫隆史氏も参加者の手ぎわの良さに感心されて

いた。

来年も是非、木工教室の企画を行ってほしいとの声が多く、より一層の内容の充実をはかるため企画を検討されている。



★ 「生活と木材展」公開

木に対する消費者の関心が次第に高まり、われわれの生活に深く密着してきたことをうけて、このたび「生活と木材展」を企画し、去る10月24日から公開されている。

この展示は、とくに生活と密着した木製品をできるだけ多く集め、木材の特性・特色・なぜ木が使われているか、どうして木がいいのかという素朴な疑問を分かりやすく解説しております。皆様方も是非一度、ご見学いただき木材の素晴らしさを再認識して下さい。

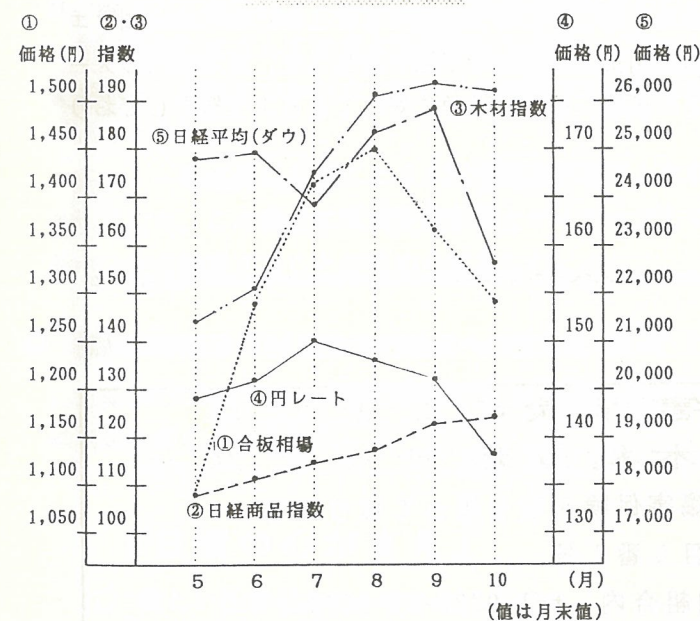
★ 集成材講演会開催

組合員トリスミ集成材㈱の得意先で結成している「集成材友の会」が、米国サンフランシスコ市の構造設計事務所で活躍中の井上安英氏を講師に招き、「アメリカの木構造設計における考え方」と題した講演会を開催された。

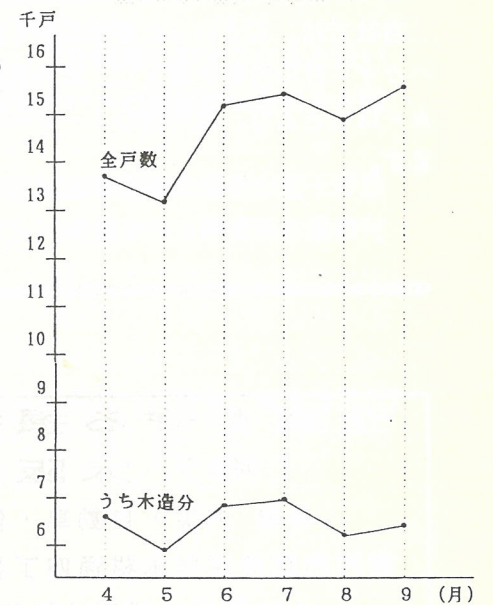
日本と米国における設計の違い、木造建築物のジョイント方法と集成材、今後の設計方向など、詳しく説明された。



市況情報



住宅着工戸数



『ちょっと一言』

気になる資材の上昇 … その1

トリスミ集成材(株) 貝本 富作



木材業界において、ひさびさの価格上昇がおとずれた。昭和54年頃からであるので、8年ぶりだろうか？ ここ数カ月、同業者の話の中でも、〇いつまで価格は上昇するのか？ 〇価格はいくらまで高くなるのか？ 〇今後の価格は？ この様な会話である。

しかし、大手住宅メーカーは、話は聞いてくれるが、あんがいと冷静である。住宅の受注量は増加しているが、従来の価格で受注している。木材価格が20~30%上昇しても、そのまゝ住宅に転化できないと価格上昇は理解できるが、了解は出来ないと話されている。

10月に入り、合板に少々値下がりが生じてきた。輸入合板が多く入荷したからだろうか？ 丸太もランバーも同様多く入荷されている。岸壁の丸太やランバーは、はたして嫁入先がきまっているのだろうか？

海外に目を向けると、原地での価格は益々強気の様である。

大断面構造用集成材について … その2

「ウッドリーム大阪」に大断面構造用集成材を使用していただいてから、数々の大断面構造用集成材を利用した木構造建築物に納材させていただいてきました。

当時はまだ、日本国内業者間の価格競争で、また国内産木材の利用という点では、国内だけの競争になっていた。しかし今日では、ベイマツやスプルスを利用したアメリカ、ヨーロッパ産の大断面構造用集成材とも競争が一部では生じてきている現状です。

当社では、こういった事態を早くから予想したわけではありませんが、昨年に米国ウエハウザー社の技術を導入し、大断面構造用集成材専用の工場を稼働させ、日本国内のメーカーはもとより、諸外国のメーカーとの価格、技術の競争に対応できるよう努力しております。

企業を守る損害保険のことなら
(株) 大阪木材団地サービスへ

各種 火災・自動車・傷害保険を取り扱っております。

南河内郡美原町木材通四丁目1番1号

大阪木材工場団地協同組合内 tel 0723-61-2670~1

“郵便局だより”

木材団地簡易郵便局、開局2周年感謝月間をおえて

当郵便局では開局2周年を記念し、また日頃の感謝をこめて、去る9月1日~30日の間を感謝月間とし、ご利用の皆様に対して謝恩サービスを行いました。

期間中は平常月の約2割増しの利用客があり、なかでも定額貯金は約2.3倍の増加となり、お蔭様で良好な業績をあげることができました。謝恩サービスのうち、注目の宝くじ特等(高級自転車)は抽選の結果、玉置昌司氏(青南台在住、写真)が見事射止められました。なお今後とも当郵便局を精々ご利用いただきますようお願いいたします。



郵便物取集時刻の変更について

当郵便局では、従来から書留速達郵便物の窓口受付時限が午後3時頃となっておりますが、皆様のご利用の便をはかるため集配局と時刻延期の交渉を重ねてきた結果、去る10月12日より午後3時30分頃に変更になりましたのでご案内いたします。

なお、土曜日の時刻は従来どおり11時30分頃です。



【団地内のうごき】

◎ 近鉄バス運行ダイヤの改訂について

予てより、団地ぐるみで要望してきた団地内乗り入れの近鉄バスが、去る10月1日より、運行ダイヤ改訂と一部路線の変更が行われました。

今回の改訂によって従来より便数が2倍近くに増加し、より利用しやすくなると思いますので、各社におかれましては、この際バス通勤の促進とバスの積極的な利用をお願いいたします。

また、一部路線の変更による木材団地前停留所と木材団地南停留所の場所が若干移動されました。この機会に環境整備事業とタイアップして、中央通りバス停留所に屋根付きベンチを設置することが決められました。

◎ 福井木材商店の(株)福井木材商店への変更について

去る10月27日付で福井木材商店が法人化され、(株)福井木材商店(代表者、福井時男氏)に名称が変更されました。

『日頃の心がまえ』

- (1) 難しい仕事だから、やりがいがある。
- (2) 仕事のやりかた三つのポイント
- (3) 肯定的に考えれば視野が広がる。



【事務局だより】



★ 組合からの連絡・案内等に対する回答について

組合からの連絡・案内等に対して回答をいただくものにつきまして、回答が遅延するケースが多く事務局の業務にかなり支障をきたしております。

回答期限を指定している連絡・案内等につきましては、期限までの回答を必ず励行していただきますようお願いいたします。

★ 組合員紹介パネルの設置について

先般、皆様に原稿を依頼し準備を進めていました組合員紹介パネルが、このたび出来上がり、ウッドリーム大阪2階展示場東側壁面に設置いたしました。

このパネルは、組合員各社の営業内容・取扱品目等を表示し、来館者にアピールするものです。

★ ウッドリーム富山の見学について

去る9月26日、職員の慰労旅行でウッドリーム富山を訪問しました。ウッドリーム大阪と同じ目的と主旨で建てられたこの建物の規模は、ウッドリーム大阪より若干小さいが、軽くて強い木の特性と、合理的な使い方が一目で理解できるよう工夫されていたのが、大変参考になりました。

木工工作を中心に木材の普及がはかられており、今後ウッドリーム大阪が木工工作施設の充実を考える上で参考にすべき点もあり、実りのある旅行でした。

★ 木材団地昭和62年の10大ニュース

好評? のうちに“あたらしき大地”も今年最終号となりました。今年もいろいろな事業を行いました、その中で事務局が今年の10大ニュースを下記のとおり選びました。

- ✓(1) 組合創立25周年記念式典(組合歌「新しき大地」作成)
- ✓(2) ログハウス「やすら木」建設・オープン
- ✓(3) 米加・木材市場視察旅行
- ✓(4) 組合会館の改修工事(情報資料室を設置)
- ✓(5) 第一回木材団地文化展の開催
- ✓(6) 木造3階建住宅の建設
- (7) 団地内運行の近鉄バスの増便・ダイヤ変更
- (8) 団地内道路通称名の制定
- (9) 第3回ウッドフェア開催
- (10) ウッドリーム「生活と木材展」オープン



皆様のご意見は?

【編集後記】

大好評(?) のうちに“あたらしき大地”も今年最終号となりましたが、今年一年の評価はいかがででしょうか?

来たる'88年度は発刊5周年を迎えますが、それに先がけこのたび“あたらしき大地”編集企画委員会(委員長 田中繁男理事)を発足し、新しい企画・内容を検討していくことにしています。ご意見・ご要望等がありましたら、どしどしお寄せ下さい。

“あたらしき大地”編集部